

《春号》

2023. 4. 15

あゆみ

Vol. 83

&lt;発行&gt;

社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会  
大阪府肢体不自由児者父母の会連合会  
〒540-0006  
大阪市中央区法円坂一丁目1番35号  
アネックスパル法円坂内  
TEL 06 (6940) 4181 FAX 06 (6943) 4661  
E-mail: info@daishikyoo.or.jp  
ホームページ: http://www.daishikyoo.or.jp

## 笑福亭笑瓶様こと渡士 洋様へ 長年のご厚意に感謝、ご冥福をお祈りいたします

去る2月22日 渡士洋様が急逝されました。渡士洋様は、皆様には、笑福亭笑瓶さんの名前で親しまれている大阪出身の芸能人で、今さら説明するまでもありません。

ニュース報道で築地本願寺でのご葬儀の様子も記憶に新しいところです。法人を代表して私と次長の高瀬の二人で参列し、お礼の言葉を述べてまいりました。

笑福亭笑瓶さんこと渡士洋様は、私どもの法人の活動に長年にわたりご理解いただき、法人の運営に多大のご貢献をいただいております。

私どもの法人と渡士様とのお付き合いは大変長く、昭和57年から「渡士洋」の名前で、毎月多額のご寄付をいただいております。そして、法人からは、利用者様の描いた絵などを添えたお礼のお手紙を毎月お返ししておりました。

ご寄付が始まった当初は、匿名での寄付でした。しばらくして、渡士洋という方からの寄付であることは分かりましたが、どういふ方なのか分からず、首をひねるばかりでした。

これが、笑福亭笑瓶さんの本名であることが分かり、一同驚いたとのことでした。

今改めて考えると、お付き合いの始まった昭和57年は、渡士様、26歳。まだまだこれからの若手時代と言えます。大阪の障害児者の自立と社会参加のために役立ててほしいとの思いからのご寄付であったと聞いております。

法人の50周年記念式典の折には、大阪府知事からの感謝状をお送りしているのですが、その際も「渡士洋」という本名での贈呈であったため、笑福亭笑瓶さんであることに気づかれた方は、少な

かったのではないかと考えます。

「継続は、力なり」と言いますが、渡士様と法人とのやり取りが40年間も続いてきたことを考えると、笑瓶さんこと渡士様の人としてのやさしさ、潔さ、負けない粘り強さみたいなものを感じます。

法人として渡士様の思いを大切に、より一層の精進をしていきたいと、決意を新たにしたところです。

笑瓶さん、今まで本当にありがとうございました。ご冥福をお祈りします。

### 【追記】

その後、奥様に「あゆみ」への掲載の承諾を得るためにお電話しました。その際に、寄付を始めるきっかけについて、お話を伺うことができました。

「主人は、結婚する前、この世界に入るか悩んでいた時に、自分は、自分の好きな仕事を何不自由なく元気に働かせてもらっている。本当は、自分の手で直接援助できれば良いけど、それも難しい。せめて寄付だけでもという気持ちで寄付を始めたようです。ですから、結婚する前から、最初は、少ない額でしたが寄付をしていたようです」とのことでした。

奥様に「あゆみ」への掲載をお願いした際に、「主人は、嫌がるでしょうけど…、隅っこにでも載せてもらったら良いです」とお忙しい中、丁寧に対応していただき、なんとも晴れやかな気持ちで電話を置きました。

理事長 野間田 徹



笑福亭笑瓶さんこと渡士洋様

## 社会福祉法人 大阪府肢体不自由者協会 2023年度 事業計画

### 「職場は、利用者と職員の笑顔であふれている」

- 利用者は、尊重され、その可能性を伸ばすことができる。
- 職員は、学ぶ意欲にあふれ、いきいきと働くことができる。
- 法人は、社会の課題解決に貢献する。



理事長 野間田 徹

新年度のスタートに当たり一言述べたいと思います。

#### ① 2025年ビジョンについて

実は、2021年度より同じビジョンを掲げ続けています。ビジョンの目標としている2025年まで、残すところあと2年となりました。

私は、この間、新任研修や内部の学習会など、機会あるごとに自分が日頃考えていることなども含めて、ビジョンについて説明してきました。

#### ② 集団に「心」はあるのか?

私が最近読んだ本の中に、「日常世界を哲学する」という本が

あります。著者は、倉田剛氏という哲学分野の方で、「存在論からのアプローチ」という難しいサブタイトルがついています。

その中に「集団に心はあるのか?」というテーマがありました。これは、「〇〇という組織は、△△と考えている」というようなことが言えるか?ということ的存在論の立場から検証するというものです。

その検証は、さておき、仮に集団が心を持つとした場合、「今我々の法人は、どんな心を持っていて、どんなことを考えているか?」ということ、私なりにあれこれ考えました。

(2頁へ続く)



(1頁より)

**3 「いま我々の法人は、変わろうとしている？」**

ふと浮かんだのは、このフレーズです。

集団が心を持つと仮定して、「いま我々の法人は、変わろうとしている」と言えるのか？そんな質問を自分にしてみました。私の答えは、去年までなら答えは「No」でしたが、今なら「Yes」と言ってもいいのではないかと考えました。

そもそも組織は、その存続のために、構成員が好むと好まざるに関わらず、常に変化を迫られる宿命にあります。しかし、だからと言って、構成員の多くが「変わろうとしている」と考えているとは言えません。

**4 ビジョンは、浸透させていく努力が大切**

「Yes」と言うのには、私なりの「印象」があつてのことです。

全職員へのビジョンの浸透という意味では、まだまだ道半ばですが、この間、ことある度に、ビジョンについての説明を繰り返してきました。理念やビジョンというものは、掲

げるだけでなく、構成員に浸透させていく努力が不可欠だと考えます。

法人の歴史を学び、法人の将来について意見交換するような場を持って、みんなが考えることで、法人としての「心」が形成されていくのではないかと考えます。そのためにも、私自身が粘り強く発信し続けることが大切だと考えています。

**5 5代目理事長としての自覚**

私は、自己紹介で「5代目理事長です」とあえて付け加えます。これは、この法人の健全な承継にご尽力して下さった多くの先輩諸氏への敬意と、これから先も代々続いていくこの法人の「のれん」を守り発展させていくんだという5代目としての現在の責任を自覚するためです。

まだまだ課題は、山積みですが、この難局を乗り切るチーム力が試されていると考えます。職場に利用者と職員の笑顔が戻ってくるよう力を合わせていきましょう。

**大肢協****中長期計画策定合宿**

事務局次長 稲原 珠実

大肢協では1月21日(土)と3月18日(土)に主任を中心とした職員による中長期計画策定合宿を行いました。

前半ではSWOT分析による法人・事業所の強み弱みの分析、後半は前半で出した強み弱みを深めながら法人全体の課題と解決への方向性について議論しました。

観点は

1. サービスの質の向上
2. 人材確保・定着・育成
3. 発信・地域貢献
4. 収益向上・売上アップ

の4テーマとしました。

◆利用者本位になっていないのではないか？利用者本位をどう徹底していくのか？

◆計画にもとづいた採用と定着のための研修や施策について

◆どういふことを伝えるために誰にどういった情報を発信していくのか

◆利用者確保のための業務時間をどう確保していくか

などの有意義な視点がたくさん出てきました。

今後はこれらの議論を事業所に持ち帰り、各事業所においても同様の議論をしてもらうことになっています。

6月に3回目の中長期計画合宿を行い、幹部会での議論を経て中長期計画の完成は今年12月を予定しています。

**大肢協**

地球兄弟チャリティコンサート 主催:梅田ライオンズクラブ

**地球兄弟プロジェクト****音楽にとっぷり浸かって**

理事長 野間田 徹

梅田ライオンズクラブ様からのご招待を受けて、グランフロント大阪 うめきたSHIP HALLに行ってきました。

今回の出演は、河川恭吾さん & ギタリストの武藤良明さん、演歌歌手の香西かおりさん、関西を中心に活動するシンガーソングライター佐合井マリ子さんの4人でした。

この「地球兄弟プロジェクト」

は、河川恭吾さんを中心として「広く市民一般を対象として、楽曲『地球兄弟』及び音楽に関連したイベントを通じ、世界中の紛争、貧困、人権・環境問題を抱える地域や人々に対する問題意識や支援の行動を喚起することにより、平和活動や国際協力の推進に寄与することを目的」としたプロジェクトです。

今の日本は、鉄砲で打たれて命を落とすようなことのない一見平和な社会に思われます。しかし実際には、持っている可能性を奪われるような力やそれを支える考え方が深く潜んでいます。例えば貧困のために行きたい学校をあきらめないといけないようなことがあります。食べたいときにお腹いっぱい食べられない子どももいます。本来持っている伸ばすことができた可能性が、家庭の経済的事情や障害や性別などによって奪われるようなことが起きます。

我々の事業は、地域で暮らす利用者さんの可能性を奪われないように守っていく事業です。そういう意味では、我々の事業は、真の平和へと続く道なのだと考えています。

当日は、心地よい音楽とトークにとっぷりと浸かりました。「来年もまた来たいです」と利用者さんが言ってくださいました。

入場料収益は、当協会にご寄付いただくことになっています。

開催のためにご尽力いただいた梅田ライオンズクラブの皆様、アーティストの皆様や運営スタッフの皆様へ感謝です。





## 日帰りレクリエーション

## 「いちご狩り」

2年ぶりにやっと開催できました!

大阪府  
受託事業

待ちに待った「いちご狩り」、2月18日(土)と25日(土)と2回開催することができました。

1回目はバス1台27名、2回目はバス2台68名で、岸和田市にある「いちご畑はる」へ行ってきました。こちらは制限時間1時間でいちごが食べ放題です。またケーキや大福やアイスクリームなどのスイーツに収穫したいちごを乗せて食べることができ、皆さん新鮮ないちごを堪能されていました。

その後、道の駅「愛彩ランド」で買い物や食事を楽しめました。徐々にですが、コロナ前のような日常が戻ってきているように思われました。

## 参加者の感想

## ★2/18参加者感想

初めての体験でしたが、いちご農園は広くて車椅子のままでもいちごをカゴいっぱい採る事ができました。いちごはとても甘くて美味しく、スイーツバイキングのケーキに乗せたりして、いっぱい食べる事ができました。

帰りは道の駅に寄って、野菜やらを買って帰ってきました。楽しみにしていたので、行けて本当によかったです。

貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

八尾市 大槻 法子



## ★2/25参加者感想

もぎたてのいちごがこんなに甘くて美味しいなんて、びっくりで大満足でした。また愛彩ランドではたくさんのお花や、お野菜の買い物に忙しかったです。

寒いながらも天気にも恵まれ楽しい1日でした。

淀川区 衣笠 明美



# 父母の会だより

八尾市肢体不自由児者父母の会

橋本 佳子

当会は、会員子どもさんが幼齢期、学童期、成人になった方から、60歳を超える方と年齢幅が広く、会員の抱えている問題も様々ですが、毎月1回会員誰もが参加できる月例会にて、情報交換を行い、市への要望へつなげています。会員交流会や新成人の祝いの会を、この数年はコロナ禍のため取りやめていましたが、落ち着いてきたので今年は再開できることを楽しみにしています。

また、八尾市の障害児者の親の会の連合会である「八尾市障がい児者問題協議会」に所属し、「夏の夕べ」や「クリスマスの集い」「作品展」等を通して、市民への障害者理解の啓発活動も行っています。

## 大肢連

## 令和4年度事業報告

大肢連会長 松並 利行

令和4年度、大肢連は新型コロナウイルス感染症対策をとりながら各会議や対府要望はじめ国への要望を進めてきました。また全肢連さわやかレクリエーション事業では「親・家族交流会」を開催、そのほか箕面市、堺市、東大阪市、和泉市、岸和田市、淀川区の6市区の父母の会が各々の企画にて同事業を開催いたしました。

ブロック懇談会は、北摂、阪南、中河内と南河内、大阪市がそれぞれテーマを決めて開催しました。

愛知県豊橋市にて開催の第55回全肢連全国大会は、今回リモートではなく出席させていただきました。

第56回近畿肢体不自由児者福祉大会 滋賀大会は、守山市において3年ぶりに開かれ、大阪からは18名参加しました。近畿ブロック地域指導者育成セミナーが奈良市にて開催され、大阪から5名が参加しました。

大阪府肢体不自由者協会との共催事業の「日帰りレクリエーション」は神戸アトア水族館2回といちご狩り(岸和田市)2回の計4回開催することができ、どの日も定員いっぱいと大好評でした。

第56回肢体不自由児者を支援するチャリティバザーは、八尾市山城町の買物公園で商品を絞って、お客さんの移動も考え規模は小さいながらも開催することができました。

このように新型コロナウイルス感染症と共生しながら1年間無事に活動することができました。次年度は、感染症に振り回されることなく活発に活動していきたいと思っておりますのでご協力よろしくお願いいたします。

## 大肢連

## 成人式のご報告「20才のご成人おめでとうございます」

## ●岸和田市肢体不自由児者父母の会

昨年10月30日(日)、岸和田市福祉センターにて岸和田市父母の会の成人の祝いを行いました。感染に配慮してこの季節に行い5名の新成人の方にお祝いをさせていただきました。

残念ながら1名の方は欠席でしたが、4名の方は元気に成長されたお姿を見せていただきました。

これからも元気に活躍していただきたいと願っています。

会長 花田 律子



## ●堺市肢体不自由児者父母の会

1月13日(金)、袖「あけぼの」にて成人式を開催いたしました。

今年度9名の方が成人を迎えられました。20年間ずっと成長を見守られてこられたご家族様のお喜びもひとしおかと存じます。晴れて成人の日を迎えられ心よりお喜び申し上げます。皆様と一緒に過ごさせて頂いている日々、職員一同も幸せを感じております。皆様の持ち前の笑顔と明るさでこれからの人生も全力で進んで行って下さい。この先も出会いに恵まれる、幸多き人生になる事をお祈りしています。

堺あけぼの福祉会 袖「あけぼの」 管理者 吉田 美保





### 大肢連 令和5年度 大肢連総会のご案内

今年度、下記の通り総会を開催いたします。各父母の会より1~2名のご出席をお願いいたします。

**と き** 4月26日(水) 午前10時30分~正午  
※受付10時15分~  
**会 場** 阿倍野市民学習センター 第2研修室  
住所: 大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300  
あべのペルタ3階

**総会議事** ①令和4年度事業報告・決算  
②役員改選(案)  
③令和5年度事業計画(案)・予算(案)  
※申込み・問合せは大肢連事務局まで

### 大肢連 令和5年度協賛ありがとうございます

<企業・団体> 真韻株式会社様 3口 9,000円

### 青い鳥郵便葉書の無償配布 ※詳細はお近くの郵便局まで

**配布対象** 重度身体障がい者(身体障害者手帳に「1級」又は「2級」の表記がある方)  
重度知的障がい者(療育手帳に「A」(又は「1度」、「2度」)の表記がある方)

**受付期間** 4月3日(月)~5月31日(水)

**配布枚数** 一人 20枚

**申出方法** 最寄りの郵便局の窓口に身体障害者手帳又は療育手帳を提示し、所定の用紙に必要事項を記入、提出してください(なお、代人による提出も可能です)

**配布方法** 4月20日(木)以降、郵送または手渡し

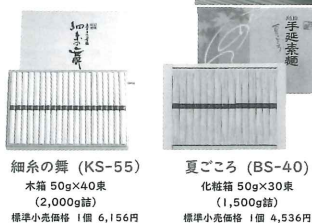
### ◆大肢協人事◆

#### ○職員

3月31日付 退職	事務局次長	高瀬 修一
4月1日付 継続	理事長	野間田 徹
4月1日付 就任	事務局長	松井 宏亮
	事務局次長	稲原 珠実

### 販売

会員割引  
あります



◎ご注文は地域の父母の会  
または大肢連事務局まで  
TEL:06-6940-4181

### 【大肢協 ご協力深謝】(敬称略)

令和5年1月1日~3月31日 現在  
寄付金 6,484円  
リーガロイヤルホテル管理部

### 大肢協 守口障害者支援センター「ひだまり」

### 『新棟 完成しました』

所長 堀 里香

令和4年8月18日からスタートした増築工事は、大きなトラブルもなく順調に進み、無事完成しました。

当初は、工事関係で数日の閉所を予定していましたが、施工会社のおかげで営業を止めることなく終了でき、こちらについては保護者から多くの感謝の言葉をいただきました。

3月9日、10日には、保護者、支援学校、市役所、基幹相談支援センター、相談支援事業所に向けて内覧会を行いました。

3月11日、12日で引越を行い、なんとか13日より新築棟での生活がスタートしました。

初日の朝の通所は喜びより、驚き、戸惑いがあり、前の建物に戻ろうとされる方、ご自身の居場所探しをする方が多くおられました。まだ緊張しているご利用者様もおられますが、新しい建物での生活を喜ばれておられる様子を伺うことができ各利用者様の今後の支援について考えるなど職員のモチベーションアップにつながっています。

現在、旧棟の改修工事が進んでおり、完全に完成するのは、6月初旬です。



### 『寄贈ありがとうございます』

主任 岩崎 真司

全国スバル販売労働組合が全日本自動車産業労働組合総連合会と連携し、社会貢献活動の一環として、福祉事業所へ車両寄贈の取り組みがあり守口障害者支援センターひだまりが対象となりました。

3月20日に納車式があり出席しました。

新しい送迎車を迎へご利用者様も喜ばれています



### 主な行事(4月~7月)

- ★造幣局特別観桜会(造幣局招待)  
4月6日(木)
- ★令和5年度大肢連総会  
4月26日(水) 10:30~12:00  
阿部野市民学習センター 第2研修室 ※4頁参照
- ★日帰りレクリエーション(大阪府受託事業)  
6月24日(土) 京都水族館
- ★対府要望(大肢連)  
6月下旬